

# 論文審査の結果の要旨

氏名 リュウ ヒョン ヨン

我が国や欧米の先進国では、重工業を主要産業とする工業都市の多くは、20世紀後半に各国や地域の産業構造の変化に従い、製造業の衰退と共に地域経済の低下や人口減少を伴う衰退傾向に陥っており、工業都市の盛衰の変遷は先進国の共通の課題となってきた。一方、後進国では工業化が進行する中、環境汚染等のこれまでの先進国の工業都市の変遷と同様の課題を抱えてきており、環境問題の克服や長期的な視点に立った持続的な工業都市の発展は都市計画学分野における課題となっている。

そこで、本研究は米国、日本、韓国の工業都市の長期的な社会経済の変遷について、統計データ分析に基づく整理と変遷パタンの類型化を通じた把握を行うと共に、我が国と韓国の代表的な工業都市のケーススタディを通じて、工業化からポスト工業化への転換過程における課題と持続的発展の概念及び方向性について論じている。その所見は下記の通りまとめられる。

第1章では、研究の背景、論点、目的を提示すると共に、関連用語の定義を明確化した。

第2章では、工業都市についての既往研究のレビューを通じて、産業経済との関係から都市を捉える工業都市論と、人口や経済指標の分析から都市のダイナミズムを捉える成長モデル論のそれぞれの研究領域の既往研究を参照し、工業都市の変遷を①成長期、②ピーク期、③衰退期、④次の定常状態に移る遷移期の4つの時期分類の時系列構成として捉える都市変遷モデルの概念を提示した。この概念モデルは後述の工業都市の変遷を論じる際の基本形となるが、特に工業都市の持続的発展を論じる際に注視される遷移期の変化のパターンについても合わせて整理を行った。また、工業都市論と成長モデル論の2つの研究領域にまたがる研究として本研究の位置づけを明確化した。

第3章では、米国(95都市)、日本(148都市)、韓国(54都市)の代表的な工業都市対象にした1950年代から2010年までの人口と工業従業者を指標とする変遷に関する分析を行った。各国での統計資料に基づき両指標に関するデータの収集・分析の結果、工業化の進行や衰退の時期がそれぞれの国によって異なるものの、工業都市における両指標の変化のパターンが6つのタイプに類型化して把握できることを示した。また、主な工業の業種や人口規模別の工業都市の比較分析を通じ、変遷パタンの共通点を明らかにすると共に、衰退傾向後の変化に焦点を当て、人口減少と工業従業者数の減少の変化が必ずしも同時には進行しておらず、両指標で見る工業都市の衰退傾向に多様なパターンが見られることを明らかにし、都市の立地条件との関係からその要因を論じた。

第4章では、日本を代表する工業都市として北九州市を対象にした文献調査、統計データ分析、関係者へのヒアリング調査に基づき、同市の社会、経済、環境の各分野における多次元の指標の時系列変化の分析と過去の施策の変遷との関係から同市における工業都市としての持続可能な発展の方向性について論じた。まず、社会、経済、環境分野の指標分析に基づき、1960年代以降の同市の長期的変化において成長期、ピーク期、衰退期、遷移期を特定すると共に、それぞれの時期における変化の特徴を明らかにした。また、工業衰退期以降の同市の産業政策や環境政策を時系列で整理すると共に、各種指標の変化と関連政策との関連についての考察に基づき、同市における施策の効果と持続可能な都市発展のための課題について論じた。

第5章では、韓国の工業都市を対象とし、韓国政府の関連施策の変遷と工業都市のGRDP等の経済指標や人口等から見た1980年代以降の社会・経済動態の分析を通じて、韓国における工業都市の発展を6パターンに類型して把握すると共に、その衰退傾向のパターンを整理した。また、代表的な工業都市として、Pohang市とYeosu市を対象にしたケーススタディを行い、社会、経済、環境の各分野における指標の変化を分析と政策との対応についての考察を通じて施策の効果や影響を明らかにした。更に、ヒアリング調査と文献調査を通じて、両市のポスト工業化の産・官それぞれの取り組みとその効果を整理すると共に、持続可能な都市発展に向けた産・官の各主体の役割を論じた。

第6章では、以上の章を通じて得られた知見を総括すると共に、ポスト工業化における持続的な都市発展の方向性と課題を整理し、今後の展望を論じた。

以上の研究成果は、日本、米国、韓国における近代化の過程の中で成長を遂げてきた工業都市の成長から衰退への変遷のパターンを明らかにすると共に、日本と韓国の代表的な工業都市におけるポスト工業化に向けた持続可能な都市発展の課題と方向性について論じており、都市計画学に寄与するところが大きい。従って、博士（サステイナビリティ学）の学位を授与できると認める。

以上 1,977 字